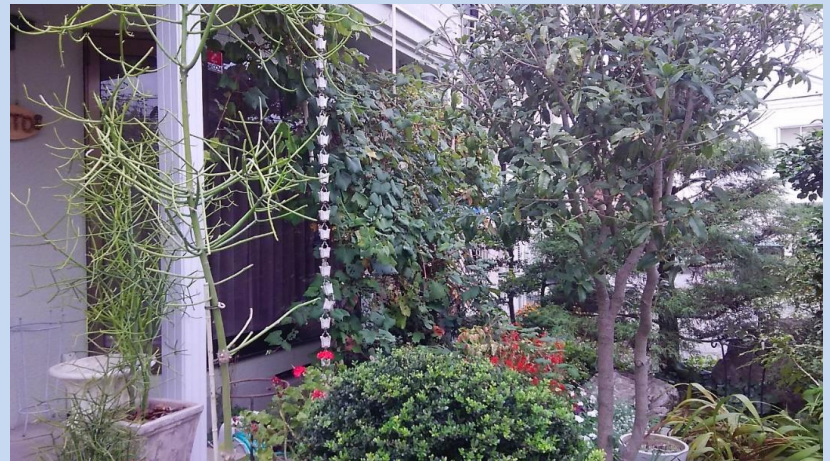


ぶどうのカーテン取り組み情報



お名前	佐藤 悦子 (甲斐市)		
ぶどうの種類	ぶどう (ゴーヤも実施)		
設置場所	自宅の庭		
カーテンの大きさ	高さ: 約 4 m, 幅: 約 3 m	取り組み年数	12年目

緑のカーテンの効果

緑のカーテンと建物の距離を1m位離すことにより、風の通り道が出来、部屋の中は3度以上涼しくなりました。緑のカーテンを通して吹いてくる風はさわやかで、木陰にいるような安らぎを感じます。また陽の光に輝く葉の美しさ、実の愛らしさはなんとも心がなごみます。

育てる際の工夫・苦労

ゴーヤの緑のカーテンは連作を嫌うので土壌に気を使っていた。植える1ヶ月前に古い土を半分取り除き、土壌改良剤を混ぜ、新しい土を入れ地植えを長年(13年)やっていたが、前々年連作障害でゴーヤカーテンは失敗でした。7年前から他の窓辺にぶどうのカーテンを作っていたので、ぶどうカーテンに切り替えた。ぶどうは朝晩の水くれもなくゴーヤより楽だが、カナブンやハチが多く悩みの種になった。

感想・楽しみ方など

前々年から緑のカーテンとしては使っていないが、ゴーヤは夏バテ防止には最高。畑で作って冷凍保存し1年中食べている。ビタミンEが豊富で加熱してもビタミンが壊れないので健康食にしている。若葉の天ぷら、ジュース、ジャム、チップス、炒め物、ゴーヤパンと様々に利用。ゴーヤもぶどうも地球温暖化防止には最高。無農薬で、庭で作れる最高の安心食品である。